



今月のトピック

3月のお困りごと



栽培も後半戦に差し掛かり、環境変化への対応や、樹勢の維持、品質維持が課題となります。過去の事例をもとに、これからの対策を立てていきましょう。

これからの時期のお困りごと

●お問い合わせ① トマト生産者さまより

雨が多いので、葉が大きく柔らかくなっています。また、天候のせい最近着果をしなくなっていました。どうすれば良いのでしょうか？

◎回答

雨続きで湿度が高く、光合成量も蒸散量も落ちるため、着果が悪くなることがあります。草勢も弱り気味で、柔らかい樹になりやすいです。

曇雨天時期の対策としては、

- ①暖房機を動かしてハウス内を乾燥させ、蒸散量を確保する
- ②給液量は減らし、排液が出たら給液を止める（排液率は0～10%程度）
※天候が回復したら灌水不足となるため給液量や回数を増やす
- ③葉面散布剤を活用する
光合成量を増やすペンタキープや、花芽を充実させるリンカリ系の肥料（ホストップ）などがおすすめ。



曇天明けの晴天（今ちょうど晴れてきていますが）はしおれやすいので、最初は遮光カーテンで助けてあげて、徐々に晴天の高温・乾燥に慣れさせていきましょう。換気は温度が低いうちに早めに少しずつ開けていくと、ハウス内の湿度が急変しにくく、萎れ対策になります。

●お問い合わせ② イチゴ生産者さまより

天気は雨(曇り)で午後2時頃のCO2濃度が800ppm、積算日射量は2MJです。日中、CO2発生機が止まっている状態でCO2濃度が高いのは、光合成できていないからでしょうか？ この場合、呼吸させない方法がありますか？

◎回答

日射量が少ないときは光合成量が減るため、光合成による吸収量＜呼吸による排出量となり、ハウス内のCO2濃度は高まります。また、今の時期のように温度が低い場合は、換気も開いていないため、外気に逃げることも少なく、より一層ハウス内濃度は高まっています。

呼吸量は温度で変化しますので、光合成量が少なく無駄な消費を抑えたい場合は、**温度を下げるのが有効です**。通常、曇雨天日は日射がないので自然と温度は低くなりますが、もし、日中の暖房設定温度が高く、晴天日と同じような温度管理になってしまう場合は、設定を2～3℃下げていただくと良いかと思えます。夜間については、天候が悪いときは温度が高くなりますので、カーテンなど保温資材の使用をやめる、側窓をわずかに開けるなど、温度を下げる管理をおすすめします。

●お問い合わせ③ イチゴ生産者さまより

イチゴの軟果対策として、カルシウムを追加で施用しようと思っています。
おすすめの資材と施用方法を教えてください。

◎回答

吸収性の良いカルシウム資材『PSカル』がおすすめです。

〈施用方法〉

- ・葉面散布：1000倍～2000倍に希釈して1～2週間ごとに散布
- ・灌注：

①原水タンクに投入…1,000倍に希釈して灌水（原液の投入目安は0.3～0.5L/10a）

②液肥タンクに投入…カルシウム剤の入った液肥タンクに追加投入

圃場に100,000倍希になるように希釈する

➡灌水制御盤での設定濃度が500倍の場合、原液タンク100Lに対し、PSカルを500cc投入！



●お問い合わせ④ イチゴ生産者さまより

pHが給液6.7、排液8.5となっています。排液pHが高いが、何か良い対策はありますか？

◎回答

これまでの栽培で、給液pHが高くなることはなく、排液pHのみが高い場合は、イチゴの肥料吸収の影響で高くなっていると思われます。

よくある現象として、硝酸対窒素を吸収したとき、カルシウムが蓄積したときなどに、pHが高くなる傾向があります。

対策としてはまず以下を確認してください。

- ①処方硝酸対窒素中心、アンモニア態窒素少なめの配合となっていないか
- ②給液中のカルシウムが多くないか
（カルシウムが多い処方、原水にカルシウムが含まれる等）
- ③排液量が少なくないか？排液は出ているか

📢当社では原水や養液の成分分析を承っております

●お問い合わせ⑤ イチゴ生産者さまより

ヘタや果梗が赤色っぽく変色して弱ってるイチゴがあります。何が原因でしょうか？

◎回答

うどんこ病の初期症状で、ヘタや果梗が赤く変色することがあります。

周りでうどんこ病が発生している箇所がないかご確認ください。

また、周りで見られない場合でも予防的にケンジャフロアブルや、トリフミン水和剤などの農薬散布をおすすめします。

既にうどんこ病が発生している場合、農薬散布や環境改善の他に、フレッシュサンソ液剤で葉の表面のうどんこ病胞子を洗い流すことも方法の一つです。

（※フレッシュサンソは農薬ではありません。また、他剤とは混用せず、単体で散布します）

他の可能性としては、**果梗が折れ**、水が果実に届いていないことも考えられます。

その場合は果実が赤黒くなってくるので、果梗が株元で折れていないかもご確認ください。

